

令和7年度

学 生 募 集 要 項

〔 総合型選抜〈帰国生徒枠〉 〕



宮 崎 大 学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に、地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2. 社会性・国際性の教育

地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3. 専門性の教育

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、教養教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

令和7年度 入学試験日程

学部・学科等	教育学部・農学部（獣医学科を除く）
Web 出願 登録期間	令和6年10月25日（金） ～ 11月6日（水）
出願期間	令和6年11月1日（金） ～ 11月6日（水）
受験票印刷可能日	令和6年11月12日（火）以降
試験日	教育学部：令和6年11月20日（水） 農学部：令和6年11月20日（水）
合格者発表日	令和6年12月6日（金）
入学手続期間	令和6年12月25日（水）17時まで（必着） ※原則として郵送とする

自然災害や感染症の感染拡大等により、出願期間、試験日、選抜方法等について変更することがあります。変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせしますので、本学からの発表にご留意ください。

目 次

1. 学部のアドミッション・ポリシー	1
2. 実施する学部（学科・課程）及び募集人員	7
3. 出願資格	7
4. 出願手続	8
5. 受験票の印刷	12
6. 選抜方法	12
7. 試験日程及び試験場	13
8. 受験上の注意事項	13
9. 不正行為について	14
10. 合格発表	14
11. 入学手続等	15
12. 個人情報の取扱いについて	18
13. 入学試験成績の情報開示	19
14. 試験場配置図	20

1. 学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育学部

学校教育課程 小中一貫教育コース

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校等の教員を目指す、教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能（以下、「知識・技能」）について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力（以下、「思考力」）、児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」）と学校現場で生きる協調性（以下、「協調性」）をもち、それらを高めるべく努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 〈一般枠〉 〈帰国生徒枠〉	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力	表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	◎	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	◎	○
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
学校推薦型選抜 (小学校主免専攻・ 宮崎県教員希望枠)	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
学校推薦型選抜 (中学校主免専攻)	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
総合型選抜〈一般枠〉 (大学入学共通テストを課さない) 小学校主免専攻 (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	口頭試問	◎	◎	◎		○
	提出書類	○	○	○	◎	
総合型選抜〈一般枠〉 (大学入学共通テストを課さない) 中学校主免専攻 (音楽・美術・保健体育)	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	◎	◎	◎	◎	○
	各教科の定める個別審査	◎	◎	◎		
	提出書類	○	○	○	◎	

総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○				

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 教職実践基礎コース

教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

教職実践基礎コースでは、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校・義務教育学校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能（以下、「知識・技能」）を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身に付け、それを幼児教育・小学校教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下、「協調性」）を持っている人を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 (宮崎県教員希望枠)	高等学校での学業成績が優秀で、宮崎県の小学校教員を目指す者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	教職への意欲	協調性
選抜方法					
前期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	面接	○	○	◎	◎
学校推薦型選抜 (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		◎	
総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	小論文	○	◎	◎	
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		◎	

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 子ども理解専攻

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしか知識・技能（以下、「知識・技能」）について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下、「思考力・主体性」）、児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」）と学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下、「協調性」）を身に付けるための努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 〈帰国生徒〉	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 主体性	表現力	教職への意欲	協調性
選抜方法						
前期日程	共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	○	◎	○		
	面接	○	◎	◎	◎	◎
学校推薦型選抜	共通テスト	◎	○			
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	○
総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	小論文		◎	◎	◎	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	○

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身に付けておくことが望まれます。

学校教育課程 発達支援教育コース 特別支援教育専攻

特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。

1. 求める学生像

特別支援教育専攻では、特別支援教育に対する意欲を持って取り組み、特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）を有し、目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）、愛情豊かに他者を思いやることのできる協調性（以下、「協調性」）を持つ人、また、学修を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）を有している人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜	高等学校での学業成績が優秀で、特別支援学校教員を目指すことに意欲的な者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	特別支援教育への意欲	協調性	創意工夫 向上心
前期日程	共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
学校推薦型選抜	小論文	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
	提出書類	◎		○		
総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	小論文	○	◎			
	面接		○	◎	◎	○
	提出書類	◎		○		

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎的学力を十分身に付けておくことが望めます。また、「思考力・表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望めます。

(2) 農学部

農学科

1. 求める学生像

農学科では、農学の幅広い学問領域において基礎的知識や能力（農学ジェネラリティ）を備え、かつ食料、環境、資源及び生命に関する高度な専門性（実践型スペシャリティ）を有する人材の育成を目標としています。

そこで、農学科では次のような人材を求めています。

- 1) 高等学校で履修した幅広い教科・科目を基盤とした知識や思考力を持ち、基礎科学や自然科学に強い関心を抱いている人
- 2) 食料・生命・資源・環境に関わる課題に対する強い関心を持ち、論理的な思考及び他者との協働により、課題解決に向け地域及び国内外で貢献する意欲を持っている人
- 3) 国際社会におけるダイバーシティの理解に努め、学修を通じて倫理観、語学力や国際的視点を修養することに意欲を持っている人
- 4) 数理データサイエンス・AI やそれらを活用した先端技術に興味を持ち、それらを主体的に学ぶ意欲を持っている人

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 〈一般枠〉 〈帰国生徒枠〉 〈社会人枠〉	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的でかつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
総合型選抜 〈私費外国人留学生枠〉	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

動植物資源生命科学コース、森林環境持続性科学コース、海洋生命科学コース

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
選抜方法					
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜〈一般枠〉 (大学入学共通テストを課す)	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜〈一般枠〉 (大学入学共通テストを課さない)	面接	○	◎	○	○
	模擬講義の受講及びレポート作成	○	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	

総合型選抜 〈社会人枠〉	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
総合型選抜 〈私費外国人留学生枠〉	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

応用生命化学コース

求める能力や適性等 選抜方法		知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
総合型選抜〈一般枠〉 (大学入学共通テストを課す)	共通テスト	◎	○		
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜〈一般枠〉 (大学入学共通テストを課さない)	面接	○	◎	◎	◎
	筆記試験	◎	◎	○	
	提出書類	○	○	◎	◎
総合型選抜 〈帰国生徒枠〉	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
総合型選抜 〈社会人枠〉	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
総合型選抜 〈私費外国人留学生枠〉	日本留学試験	◎	◎		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	◎	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

生物、化学、数学、英語、情報以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。

2. 実施する学部（学科・課程）及び募集人員

学部（学科・課程）		コース・専攻		募集人員	
教育学部	学 校 教 育 課 程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	各コース・専攻 とも若干人	
			中学校主免専攻		
		教職実践基礎コース			
		発達支援教育コース	子ども理解専攻		
			特別支援教育専攻		
農 学 部	農 学 科	動植物資源生命科学コース 森林環境持続性科学コース 海洋生命科学コース 応用生命化学コース		各コースとも 若干人	

（注）入学後の教育は、一般選抜により入学した者と同様に行われます。

（※１）農学部農学科のコース配属について

合格者は、入学時に合格したコースへ仮配属され、２年進級時から各コースへ配属されます。

１年次は、希望する分野やその関連分野、異分野の学問体系や研究内容、就職先等について横断的に概観し、自分が本当にやりたいことへの意識付けとキャリアデザインの初設計の期間に充てています。

１年次の授業で各コースについて理解を深め、基本的には２年次から入学時と同じ仮配属コースへ配属されますが、一般選抜での合格者は、受入定員内（コース目安定員の１１０％未満）であれば、２年進級前にコース移動を希望することも可能です。（※）

※希望者数が受入定員を超過した場合には、農学部が定めた基準による成績順に、受入定員まで配属することとしています。

※総合型選抜〈一般枠・帰国生徒枠・社会人枠・私費外国人留学生枠〉および学校推薦型選抜での合格者は、異なるコースを希望することはできませんので、注意してください。

3. 出願資格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者

- （１）学校教育における１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を外国又は日本において、令和５年（２０２３年）４月１日から令和７年（２０２５年）３月３１日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去４年間の内、外国において２年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者

（注）外国に設置されたものであっても日本の学校教育に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなしません。

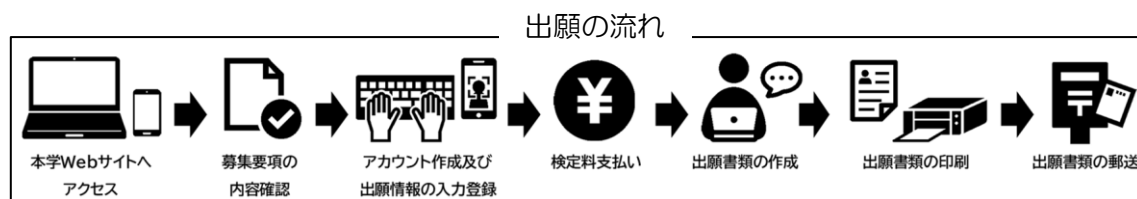
- （２）外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル資格）のいずれかを令和５年（２０２３年）又は令和６年（２０２４年）に授与された者で、令和７年（２０２５年）３月３１日までに１８歳に達する者

（注）GCE-Aレベル資格の必要な科目数・評価については、宮崎大学学び・学生支援機構入試課（０９８５－５８－７１３８）までお問い合わせください。

4. 出願手続

入学を志願する者は、次の（１）～（５）により、手続きを行ってください。

インターネットを利用した出願情報の登録（以下「Web出願登録」という。）後、入学検定料を支払い、（２）の提出書類を郵送することで、出願完了となります。（５）の受付期間内に提出書類の提出がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。



（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円の支払いが必要です。
※個人成績開示を希望する場合は、開示手数料800円を入学検定料と併せてお支払いください。

＜Web出願登録サイト＞

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>

- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。
- ア. 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行、ＡＴＭ、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。
 - イ. 電子メールアドレスが必要です。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。Web出願登録サイトからのメールは、「nyushi-j@of.miyazaki-u.ac.jp」から送信されますので、受信できるように予め設定等を確認してください。）
 - ウ. 受験票及び写真票に使用する写真データが必要です。上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズの jpg 又は png データをアップロードしてください。
 - エ. A4サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。
印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷する必要があります。）
 - オ. 「（２）提出書類」の「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要するものがあります。
- ③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、Web出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）まで相談してください。

（２）提出書類

Web出願登録完了後、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

- ① Web出願登録サイトから登録・印刷（A4サイズで印刷）

提出書類	摘 要
志願票	Web出願登録及び入学検定料支払い後、印刷したもの。
宛名ラベル	角形2号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。

- ② 出願者が準備する提出書類（提出書類の記入は、黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）
本学所定の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

URL : <https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/other/kikoku.html>

提出書類	摘 要
身上記録	本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。 様式は下記URLからダウンロードしてください。 https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/departement-exam/other/kikoku.html なお、農学部農学科動植物資源生命科学コースにおいて、TOEFL等の成績や有する資格を記入する場合は、その証明書（写し）を添付してください。
本人自筆の志望理由書	様式は任意ですが、必ず本人が自筆したものに限りです。 （A4サイズ・日本語で3,000字程度） （注）農学部農学科動植物資源生命科学コース志願者のみ
卒業（修了）証明書 成績証明書 資格証明書等	次の①～⑤のいずれかを提出してください。 ① 出身高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び成績証明書（出身高等学校長が作成したもの、原本に限る） また、日本の高等学校又は中等教育学校に在学したことがある場合は、併せて在学高等学校長又は在学中等教育学校長の作成した所定の調査書又は成績証明書（原本に限る） なお、記載事項内容（科目名、成績等）が記号等で示されている場合は、必ずその説明文を付してください。 ② 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書（写し）及び最終試験6科目の成績評価証明書 ③ アビトゥーア資格を取得した者は、成績の記載されている一般的大学入学資格証明書（写し） ④ バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書（写し）及びバカロレア資格試験成績証明書 ⑤ GCE-Aレベル資格を取得した者は、その成績評価証明書
国籍を証明する書類	次のいずれかを提出してください。 ① 住民票の写し（原本） ・日本国籍の場合は、本籍地の記載が必要です。 ・日本国籍以外の場合は、国籍と在留資格の記載が必要です。 ② パスポート（氏名、国籍、顔写真が分かるページのコピー） 日本国籍以外の場合は、在留カード等在留資格が記載されている書類も提出してください。
日本語訳	外国語で作成された書類には、日本語訳を添付してください。

（３）提出方法

Web出願登録及び入学検定料支払い後にWeb出願登録サイトから宛名ラベルを印刷してください。
市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、（２）の提出書類を全て入れ、必ず「**一般書留・速達**」郵便で郵送してください。

（４）提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電 話：0985-58-7138
F A X：0985-58-2865

(5) 提出書類（出願書類）の受付期間

出願期間 令和6年11月1日（金）～11月6日（水）

- ① 提出は原則、郵送してください。
ただし、出願期間の平日9時から17時まででは持参可能です。
- ② 郵送の場合は必ず一般書留・速達とし、入試課へ期間内必着（17時必着）です。ただし、一般書留・速達でない場合は期間内消印であっても受け付けません。期間内に到着しない場合は受理しませんので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
※Web出願登録期間については令和6年10月25日（金）～11月6日（水）17時までとしており事前に登録可能です。
なお、Web出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、上記の受付期間内に（2）の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。

(6) 注意事項

- 1) Web出願登録サイトにおいて出願登録を完了した後は、志望学部、志望学科・課程（コース・専攻）、教科等の変更はできません。（それ以前であれば、Web出願登録サイトから変更できます。）
- 2) 提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
- 3) 受付後の提出書類等は返還しません。
- 4) 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- 5) **既納の検定料及び個人成績開示請求手数料は、以下の場合を除き、返還いたしません。**
 - ① **提出書類を郵送又は持参しなかった場合**
※Web出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、（5）の受付期間内に（2）の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。
 - ② **提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合**
 - ③ **誤って二重に支払った場合**

返還請求の方法

検定料返還請求願（様式は問いません。氏名（フリガナ）、入試区分、個人成績開示請求の有無、返還請求理由、現住所、電話番号、返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ））を明記したもの）を作成し、**令和7年3月31日（必着）までに**、以下の宛先へ速やかに郵送してください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和7年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

※入学検定料返還手続きについて

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/nk-henkan.html>



〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係
電話：0985-58-7122（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(7) 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、令和6年10月11日（金）までとします。

相談期限以降でも、不慮の事故等のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。（郵送可）

ア 志願者氏名・志望学部・学科・課程・プログラム

イ 障がい等の種類・程度

ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項

エ 出身学校でとられていた配慮事項

オ 日常生活の状況

カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電 話：0985-58-7138
FAX：0985-58-2865
（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

5. 受験票の印刷

令和6年11月12日（火）以降、Web出願システムの「出願状況確認」から受験票の印刷が可能となります。A4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

6. 選抜方法等

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

実施方法

学部・学科		種別	所要時間等及び内容
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	小論文	1,000字程度 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望動機、本課程への適性、卒業後の進路等
農学部農学科	動植物資源生命科学コース	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、本コースに対する適性（高等学校で履修した英語、理科に関する基礎知識）卒業後の進路、その他
	森林環境持続性科学コース	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	海洋生命科学コース	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	応用生命化学コース	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語の読み、書き、表現力の能力、本コースに対する適性（英語、化学と生物に関する基礎知識）、志望理由、卒業後の進路、その他

7. 試験日程及び試験場

試験日	種別	時間	試験場
教育学部：令和6年11月20日（水）	小論文	9:00～	各学部試験場
農学部：令和6年11月20日（水）	面接	11:00～	

- （備考）1. 受験する科目の試験開始20分前までに試験室に入室してください。
 2. 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
 3. 試験日程等の詳細は「受験案内」で通知します。「受験案内」は受験票ダウンロード時に併せてWeb出願システムへ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。

8. 受験上の注意事項

1) 試験前日までの注意事項

- ① 試験場については、試験日前日の午後に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。
 ただし、建物に立ち入ることはできません。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
 URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>
- ③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することのないよう、万全の準備を行ってください。

（2）試験当日の注意事項

- ① **「本学の受験票」を必ず持参してください。**
- ② 指定された時間までに指定された集合場所にて待機してください。（時間、場所については、「受験案内」を受験票ダウンロード時に併せてWeb出願システムへ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。）
 また、交通事情等で遅刻する場合は必ず以下へご連絡ください。
 ・教育学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-2890
 ・農学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-3834
- ③ 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ④ **受験票に記載の「受験にあたっての注意事項」を必ず確認してください。**
- ⑤ 机の上には、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外の所持品を置いてはいけません。
- ⑥ 試験室では監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。また、試験時間中に用があるときは手を挙げてください。
- ⑦ 試験中の退室はできません。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ⑧ 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。また、これらの電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないでください。身につけていたり、手にもっている場合、不正行為となることがあります。
- ⑨ 試験中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームは設定を解除してください。

(3) チャットボットについて

本学ホームページ (<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>) のトップ画面に「もうくんチャットボット」が表示されます。「受験生向けQ&A」には過去の受験生からの質問に対する回答を掲載していますので、ご確認ください。

9. 不正行為について

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑨ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、（1）と同様です。

- ① 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

10. 合格者発表

- (1) 令和6年12月6日（金）10時から本学ホームページ (https://www.miyazaki-u.ac.jp) に合格者の受験番号を掲載し、合格者には合格通知書及び入学手続き書類を送付します。
- (2) 合格者の発表は、合格者本人宛に発送する合格通知書が正式なものとなりますので、必ず合格通知書で確認してください。
- (3) 合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。
- (4) この帰国生徒選抜では、本学で学ぶための必要不可欠な資質を評価・審査します。そのため、合格者がいない場合があります。

11. 入学手続等

(1) 入学手続期間

令和6年12月25日（水）まで（17時必着）

上記期日までに入学手続きを完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。
原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

(2) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

(3) 納入金

① 入学料 282,000円

（注1）入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

（注2）既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

①入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

②入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

（注1）授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

（注2）授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は、初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は、10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ

（<https://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/>）にてご確認ください。

（注3）授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

（注4）在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続の際に提出を求める書類等

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票の受験票を提出してください。

(5) 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から新設された制度で、以下の2つの支援からなります。

・日本学生支援機構の給付奨学金（原則返還不要）

・入学料・授業料の免除又は減額

対象：住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生（留学生や大学院生は対象外）

※申込資格や選考基準（収入や成績の基準）は以下のサイトを確認ください。

日本学生支援機構（給付奨学金：申込資格や選考基準）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/shikaku/zaigaku.html#01>

(6) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は一部を免除することがあります。

① 令和7年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度

② 令和7年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度

③ 入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。

（6）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

※③の対象となる災害については、令和7年2月中旬頃に本学学生支援関係ホームページ上で通知予定。

(7) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することができます。

- ① 令和7年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
- ② 令和7年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
- ③ 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ④ 入学前1年以内において本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ⑤ 入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ⑥ 上記④⑤に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。

(6)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

(8) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当し、授業料の納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

- ① 令和7年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
- ② 令和7年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
- ③ 本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。

(6)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

※③の対象となる災害については、令和7年2月中旬頃に本学学生支援関係ホームページ上で通知予定。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係ホームページ ※最新情報は以下のサイトをご参照ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/>

(9) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し優秀な人材の輩出を図ることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係ホームページ ※最新情報は以下のサイトをご参照ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/>

(10) 教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の教養教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続きに再度ご案内いたします。

なお、医学部については、定められたパソコン端末により全国共通試験・演習等の実施の必要性から、

所定のパソコンを設置していますので、個人所有のパソコンを携行する必要はありません。

(11) 新キャンパスについて

本学では令和7年4月より地域の中核大学として教育・研究の更なる充実と、本学が有する多様な“知”の社会への還元・発信を実現するための「まちなか」でのフィールドの必要性について様々な検討を進め、新たに錦本町コミュニティキャンパスとして宮崎市錦本町（にしきほんまち）に新たな拠点を設けることにしました。

本学のメインキャンパスは木花キャンパスと清武キャンパスですが、カリキュラムによっては、授業科目の一部を錦本町コミュニティキャンパスで開講する予定です。受講時間割によっては、メインキャンパスからの移動を伴う場合があります。

追って、詳細については、大学ホームページ等でご案内いたします。

(12) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入することをお願いしています。（但し、学部によっては別途指示がある場合があります。）また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7882、7140

（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(13) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲載する「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。また、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる学生寄宿舍入居申請要項の請求について

本学学生支援関係ホームページの学生寮のページ（<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/dormitory/>）をご覧ください。

② 学生寄宿舍入居申請要項の請求

ア 請求方法：返信用封筒（角形2号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、180円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項（学校推薦型選抜）請求」と朱書の上、請求してください。

イ 請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7142

ウ 請求期限：令和7年1月6日（月）

③ 学生寄宿舍の概要

寄 宿 舎 名	男 子 寄 宿 舎	女 子 寄 宿 舎	国 際 交 流 宿 舎
収 容 定 員	100人	100人	165人
募 集 人 員	5人	5人	6人
入 居 資 格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（令和7年4月～令和8年3月） ※4年間を保証するものではありません。		
寄 宿 料	月額7,000円		月額4,700円
構 造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居 室 定 員	1人（個室）		
居 室 面 積	9㎡	9㎡	11㎡
共 用 施 設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舎は居室に設置）		
諸 経 費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所 在 地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

（注1）募集人員には、学校推薦型選抜合格者、総合型選抜合格者（一般枠、帰国生徒枠、社会人枠）及び編入学試験合格者が含まれます。

（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。

（注3）建物内及び周辺に喫煙場所はありません。

12. 個人情報の取扱いについて

- （1）個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- （2）出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- （3）入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- （4）上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- （5）出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

13. 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、募集単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

記

1. 開示請求者

本学が実施した令和7年度入学試験を受験した者

2. 開示請求の方法

Web 出願登録サイト上で、出願登録時に「個人成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。

※個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

3. 開示請求期間

令和6年10月25日（金）から11月6日（水）

4. 開示情報の内容

総合得点による順位

5. 開示期間

令和7年5月14日（水）から6月13日（金）

6. 開示の方法

個人成績開示をオンライン上で実施します。

開示期間中は専用サイトにログインの上、個人成績を確認できます。詳細は令和7年4月下旬頃下記に掲載します。

個人成績開示案内URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/disclosure.html>

7. 開示請求手数料

1選抜ごとに800円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

8. その他の注意事項

（1）開示期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。

（2）郵送、電話、メール及び学び・学生支援機構入試課の窓口での開示請求については受け付けません。

（3）既納の開示請求手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

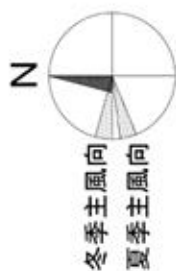
イ 入学検定料と開示請求手数料を誤って二重に払い込んだ場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学学び・学生支援機構入試課

電話：0985-58-7138

宮崎大学 (木花キャンパス) 入学試験会場



宮崎大学 位置図



木花キャンパスへの交通アクセス（教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部）

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」→「橘通り」→「宮交シティ」→「宮崎大学」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約10分
 ○JR清武駅から：約15分 ○JR南宮崎駅から：約25分

清武キャンパスへの交通アクセス（医学部）

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」→「橘通り」→「宮交シティ」→「大学病院」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約15分
 ○JR清武駅から：約10分 ○JR南宮崎駅から：約25分

各種問い合わせ先

入 試 全 般	学び・学生支援機構入試課	0985-58-7138
入 学 手 続	学び・学生支援機構総務係	0985-58-7427
授業料納入	財務部財務課	0985-58-7122
授業料免除	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7976
奨 学 金	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7140
学生寄宿舍	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7142

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構入試課

〒889 - 2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

電 話 0985-58-7138

ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>



宮崎大学ホームページに表示されるチャットボットもご利用ください。多くの質問に対応しております。土日、夜間でもご利用いただけます。

【利用方法】

質問したい事項をメニューから選択するか、質問やそのキーワードを文字で入力いただくとAI（人工知能）が自動回答します。